



分類群	特徴（体制、排出器官など）			神経系	生物例			
海綿動物	無胚葉		消化管はなく、細胞内の食胞で消化。えり細胞のべん毛の運動で水を運ぶ。	なし	クロイソカイメン、カイロウドウケツ			
刺胞動物	二胚葉 (外・内胚葉)	無体腔	放射相称。刺胞をもつ。肛門がなく、口は肛門をかねる。	散在	イソギンチャク、ミズクラゲ、サンゴ、ヒドラ			
扁形動物	三胚葉 ※外肺葉 中胚葉 内胚葉	旧口動物 冠輪動物	左右相称で偏平。肛門と循環系がない。排出器官は原腎管。	かご形	プラナリア、サナダムシ、ヒラムシ			
輪形動物			偽体腔	左右相称で円柱形。口と肛門をもつ。繊毛環をもつ。排出器官は、原腎管。	神経節を持つ	ワムシ		
環形動物			真体腔	左右相称、多数の体節あり。閉鎖血管系でイトロクルリン（呼吸色素）をもつ。排出器官は腎管。	はしご形	ミズ、ゴカイ		
軟体動物				外とう膜で包まれ、多くは貝殻や甲をもつ。排出器官は腎管。ヘモシアニン（呼吸色素）をもつ。多くは開放血管系だがイカ・タコ類では閉鎖血管系でカメラ眼。トロコフォア幼生	神経節が発達	頭足類（イカ・タコ）、ハマグリ、ナメクジ、カタツムリ		
線形動物			新口動物 ※原口が肛門	脱皮動物	偽体腔	左右相称で円柱形。体節構造はなく、口と肛門をもつ。	神経節を持つ	センチュウ、カイチュウ
節足動物					キチン質の外骨格。体節構造が発達。開放血管系。排出器官はマルピギ管など。種数最多。	はしご形	甲殻類(エビ・カニ)、昆虫類、クモ類	
棘皮動物					多くは五放射相称。石灰質の骨片やとげあり。水管系で呼吸・循環。管足で移動。	放射状	ウニ、ヒトデ、ナマコ、ウミユリ	
原索動物			※原口が肛門	真体腔	発生途中で脊索を形成するが、脊椎骨はできない。杓は開放血管系。ナメクジウオは閉鎖血管系。	管状	ホヤ、ナメクジウオ	
脊椎動物					閉鎖血管系でヘモグロビンをもち。椎骨(脊椎骨)あり。排出器官は腎臓。		フナ、カエル、アオウミガメ、ニワトリ、ヒト	

- 腔腸動物 { 刺胞動物・・・ミズクラゲ、イソギンチャク、ヒドラなど
有櫛動物・・・クシクラゲなど
- 冠輪動物・・・旧口動物で、脱皮しない（扁形・軟体・環形動物）
- 脱皮動物・・・脱皮する（線形・節足動物）
- 脊索動物・・・原索動物 + 脊椎動物